

べんからごうし



第10号

編集・発行

社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会

〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2 TEL.075-822-1011

1999年1月発行

地域福祉の発展にかかせない

学区社会福祉協議会

住み慣れた所が一番、いつまでも住み暮らしたい、と願うのは誰も同じです。しかし、同じ地域のなかでも、仕事の都合や結婚、より快適な住居を求める等により、やむを得ず住み慣れた土地を離れていたり、新たな住民や店舗が加わったり、また同じ住居でも世代が変わり、地域の姿も年々変わってきています。ご近所どうしで気軽に声をかけ合ったり、世間話に花を咲かすといった風景は、今や懐かしく思われます。

こうした地域の変化のなかで、高齢者の介護をはじめ、障害のある方の生活問題、子育てに関する悩み等といった福祉課題が住民の皆様の中に起こると、行政の福祉サービスに頼るしか手立てがないということになりがちです。もちろん、行政の福祉サービスを活用することが大事なとは言ってもありませんが、温かいまちとして実感できるのは、住民の皆様が同じ地域に暮らしているからお互いに支え合うことが大切だと思う意識がその地域にどれくらい根づいて

ているのか、ということにかかってくるのではないのでしょうか。

学区社会福祉協議会では、一人暮らし高齢者の昼食交流会や寝たきり高齢者の寝具クリーニングサービス、障害のある方々の地域交流事業をはじめとした各種の福祉事業を実施するとともに、住民の皆様が福祉に対する意識の高揚をはかり、誰もが住みよいまちづくりをすすめています。そして、こうした活動の貴重な財源となっているの

が京都市社会福祉協議会への賛助会費です。この賛助会費は、中京区社会福祉協議会で取りまとめた後、こうした各学区での地域福祉活動発展のために活用させていただきます。しているとともに、高齢者ミニデイサービス事業やふれあいいきいきサロン事業、障害者支援事業、ボランティア講座等々の区段階で実施する福祉事業推進の財源にもなっております。

少子・高齢社会のなかで、今後ますます区民の皆様が福祉充実への願いにこたえていくために、中京区社会福祉協議会と各学区の社会福祉協議会は、地域福祉活動をより充実していきたいと考えております。

つきましては、各学区において賛助会員への加入のお願いをさせていただきたく折に、何卒ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。



市内でトップをきって開催した中京区介護保険シンポジウムで学ぶ住民の皆様

地域の福祉活動を を支えます

本年も募集にご協力をお願いします

地域の福祉活動を を支えます

賛助会費

住み暮らす地域がいつそう輝くために 本年も募集にご協力をお願いします

日頃は、中京区社会福祉協議会に格別のご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、二十一世紀も目前にせまり、社会福祉の様相も大きく変わろうとしています。昨年十二月に中央社会福祉審議会社会福祉構造改革分科会が出した社会福祉基礎構造改革の最終報告のなかでは、福祉サービスを利用する仕組みをこれまでの措置制度から本人が選択し契約によってサービスを利用するように変えることやこれまで公的施設が行ってきた社会福祉事業に民間企業等も参入できるように市場原理の導入等が示されています。

国の福祉財源の厳しさを反映した大きな流れのなかのことでありますが、これらはいささか疑問があるところです。また、この報告のなかには、社会福祉協議会が痴呆症状のある高齢者や知的・精神障害のある方の日常生活の権利を擁護する役割を担うことが期待されています。

さらに、来年四月より実施される介護保険制度にむけて、本年十月より要介護認定の申請受けが行われようとしています。

こうした社会福祉の変化を迎えるなかで、本会では、昨年九月に介護保険制度の内容を区民の方々に知っていただき

題点をふかめるために、介護保険シンポジウムを開催し、また現在では、福祉・保健・医療の実質的なネットワークをつくるために関係する実務者レベルでの検討をすすめているところです。

長引く経済の低迷により、私達住民の暮らしはますますきびしい状況をむかえておりますが、こうした時にこそ、社会福祉のあり様を今一度見つめ直すことが必要ではないでしょうか。

そのためには、住民が安心して暮らせる地域づくりを住民自らすすめていく、そのために必要なことがあれば、行政に働きかける、そんな社会福祉活動の原点にたつことが大事だと考えております。

現在、賛助会員募集のお願いをさせていただいているところですが、そんな原点の活動にとつて非常に貴重な財源となっております。どうか区民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会
会長 山段 芳春

**賛助
会費**

◇個人（世帯） 年1口 500円

◇法人（企業） 年1口 1,000円

（個人・法人とも口数に制限はありません。）

**募集
期間**

平成11年1月より

**募集
方法**

賛助会員募集にご協力いただく各学区の方がご訪問させていただきます。



中京区ボランティアセンターでは、身近に手話に触れ、少しでも聴覚障害者と接する機会が作ればという思いで、昨年度より「手話講座」を開催し

ご存知のように「手話」は、コミュニケーションのひとつです。聴覚障害のある方は、学校で手話の授業があり、そこで習って習得すると思われがちですが、実はそうではなく、友人達や周りの人との手話での会話の中から一つ一つ習得されているのです。健常者の方も聴覚障害者と多く接することにより、自然と手話が身につけてきます。手話は習うというよりも、どれだけ多くの方と会話(手話)をするかということが大きな進歩のカギとなります。実際に手話の教室に通われて、まだ半年という方でも、日頃からご近所の聴覚障害のある方と接していただけるため、通訳者と間違える程の方もおられるほどです。

体全体を使った豊かな表現力

「手話」は、「コミュニケーションのひとつです」

ています。

平成十年度「手話入門講座」は昨年度にひきつづき、聴覚障害者協会中京支部・みみずく中京支部の協力を得て、昼の部・夜の部に分けて開催し、延べ一四名の方にご参加いただきました。講座では、聴覚障害のある方の実体験に耳を傾け、涙する方の姿も見えました。また、初歩的な手話を交えて全員が緊張しながら発表する時間があったり、笑いが絶えない講座となりました。

日頃、「口先だけ」などという言葉をよく使いますが、わたしたちが会話

をする時には、主に口だけを使って相手に物事を伝えます。一般に手話も同じように指先や手だけで表現すると思われがちですが、聴覚障害のある方は、頭の前からつま先まで使って表情豊かに、体全体を使って表現されることが多いのです。この講座では、一般的に日本人に不足しているといわれる表現力を養うのにも良い機会となったのではないのでしょうか。

今回の手話入門講座にご協力いただきました京都市手話学習会「みみずく」の概要をご紹介します。



「みみずく」のご紹介

「みみずく」は、手話を学んでろうあ者の良き友となり、全ての人に対する差別や偏見をなくしていくために聴障者と共に活動し、その活動を通じて私たち自身も向上していくことを目的に活動するグループです。

中京区では、下記により活動されていますのでご紹介いたします。

昼の部

毎週金曜日 午後1時から3時
場所 みぶ身体障害者福祉会館 京都市聴覚言語障害センター
連絡先 ^{あずまい}東井 啓子 Tel・Fax 841-2083

夜の部

毎週火曜日 午後7時から9時
場所 みぶ身体障害者福祉会館
連絡先 篠原 耕一 Tel・Fax0726-83-3266
サークル活動に参加希望の方は、直接上記連絡先へ。

運転ボランティア募集 ドアtoドア

中京区社会福祉協議会が運営しております「中京区高齢者ミニデイサービス」事業も3年目をむかえることができ、関係機関や多くのボランティアさんの協力を得て、事業もようやく軌道に乗ってまいりました。しかしながら、利用者さんのご自宅のドアからボランティアさんの待つあったかいミニデイサービスセンターへの、いわゆる「橋渡し役」の運転ボランティアさんが不足しております。

普通免許をお持ちの方で、送迎にご協力いただける方を早急に募集しております。

朝と昼の送迎の短時間のボランティアでも結構ですが、一日お手伝いいただいて利用者さんや他のボランティアさんから「ふれあう」ことの楽しさ・喜びをあじわってください。

送迎時間 午前10時頃から午前11時頃まで
午後3時頃から午後4時頃まで

送迎のルートは、曜日・利用者によって異なります。

車は、ワンボックスのワゴン車とリフト車を使用しています。

活動についての詳細は、中京区ボランティアセンターまでお願いいたします。

介助ボランティア募集 ハートandハート

充実したミニデイサービスにするためには、まだまだ介助ボランティアが不足していますので、ご協力いただける方を大募集しています。

ボランティア活動は、仕事をもち働き盛りの方や他のボランティア活動をされている方など、慌ただしく忙しい日々の中で、心のゆとりを求めて多くの方がされています。利用者ボランティアのひとりひとりが大切な存在で、心と心がつながり合う喜びを感じるからこそ、心豊かになり人間らしく前向きに生きるエネルギーがみなぎってきます。

まずは、見学又は一日体験ボランティアでも結構です。

活動時間 午前9時50分から午後4時頃まで

活動内容 話し相手、歩行介助、送迎介助、食事介助など

情報提供のお願い

中京区ボランティアセンターでは皆さんからの情報を募集しています。ボランティアグループの会員や施設ボランティアの募集など、ございましたらセンターまでご一報ください。

個人登録者求む

ボランティアセンターには、毎日のように、ボランティアに来てほしい、協力してほしい、といった問い合わせが入ってきます。しかし、まだまだ個々のニーズに対応できるだけの活動希望登録者が確保できていないのが現状です。

登録は、カードに記入するだけと簡単なものですので、ボランティア活動に関心のある方は、是非ご連絡ください。お待ちしております。

お問い合わせは

社会福祉法人
京都市中京区社会福祉協議会
中京区ボランティアセンター
TEL 822-1011 FAX 822-1829

聴覚障害者福祉施設改修のための フリーマーケット&手話教室開催

日時 3月7日(日) 午前10時～午後2時
手話教室は午前11時30分～と午後1時30分～の2回・約30分

会場 中京区地域福祉センター2F
大宮通姉小路西入(元教業小内)

主催 京都市手話学習会みみずく中京支部
協力 京都市聴覚言語障害者協会中京支部
社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会

ミニビデオ
上映会も
あります

当日、多くの方のご来場をお待ちしております。お気軽にお立ち寄り下さい。なお、収益金は、綾部にあるろう重複障害者の生活と労働の施設「いこいの村・栗の木寮」の老朽化に伴う改修資金として寄付させていただきます。